

沖縄及び北方問題に関する特別委員会

委員一覧（20名）

委員長	小西	洋之（※）	今井	絵理子（自民）	勝部	賢志（※）
理事	猪口	邦子（自民）	岩本	剛人（自民）	徳永	エリ（※）
理事	山田	宏（自民）	高橋	はるみ（自民）	下野	六太（公明）
理事	石橋	通宏（※）	鶴保	庸介（自民）	鈴木	宗男（維新）
理事	秋野	公造（公明）	三宅	伸吾（自民）	紙	智子（共産）
	有村	治子（自民）	宮島	喜文（自民）	伊波	洋一（沖縄）
	石田	昌宏（自民）	大塚	耕平（※）		（2.1.20 現在）

※ 立憲・国民・新緑風会・社民

（１）審議概観

第201回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査等〕

2月17日及び18日、北方領土及び隣接地域の諸問題等に関する実情調査のため、北海道に委員を派遣した。

3月11日、沖縄及び北方問題に関しての施策に関する件について、衛藤内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）及び茂木外務大臣から所信を聴いたほか、前記委員派遣について、派遣委員から報告を聴いた。

3月19日、予算委員会から委嘱された令和2年度内閣府（内閣本府（沖縄関係経費）、北方対策本部、沖縄総合事務局）及び沖縄振興開発金融公庫の予算について審査を行い、令和2年度予算における沖縄振興に向けた取組、ロシア国内における憲法改正の動きを踏まえた日露平和条約交渉への取組、北方墓参の負担軽減など元島民からの要望に対する令和2年度予算における措置、北方領土隣接地域振興等基金の活用状況と基金の増額等の必要性、沖縄県の主体性を重視する第五次沖縄振興計画の理念に逆行するような

一括交付金削減などの予算措置に対する認識、オーバーツーリズム等の弊害が起きている中での沖縄県観光振興への取組、令和2年度北方四島交流事業に係る代表者間協議中止の背景及び実施方法の検討状況、内閣府北方対策本部予算における国民世論啓発策の在り方、北方四島における日露共同経済活動の実施の見通し、沖縄県における遺骨収容事業の体制強化に向けた取組、死因究明のための医療事故調査制度の運用状況、へき地等の公立病院支援措置の具体的内容、根室・国後間海底ケーブルの保護及び文化財への登録に向けた取組、新型コロナウイルス問題を踏まえ、ビザなし交流実施に向けて内閣府が早期に働きかける必要性、一括交付金を減額し、沖縄振興特定事業推進費を増額した趣旨、普天間飛行場返還後の直接経済効果及び誘発雇用人数が返還前の32倍に達するとの沖縄県の試算に対する見解、北方領土隣接地域の振興に資するインフラ・医療体制の整備、PFOS等の水質汚染に対する政府の対応状況、PFOS等による水質汚染への沖縄県の対策費用を国が負担する必要性、PFOS等の汚染の懸念がある取水源を他の取

水源で代替するための条件等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和2年1月20日(月) (第1回)

- 特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○令和2年1月29日(水) (第2回)

- 委員派遣を行うことを決定した。

○令和2年3月11日(水) (第3回)

- 沖縄及び北方問題に関する施策に関する件について衛藤内閣府特命担当大臣及び茂木外務大臣から所信を聴いた。
- 派遣委員から報告を聴いた。

○令和2年3月19日(木) (第4回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 令和二年度一般会計予算(衆議院送付)
令和二年度特別会計予算(衆議院送付)
令和二年度政府関係機関予算(衆議院送付)
(内閣府所管(内閣本府(沖縄関係経費)、北方対策本部、沖縄総合事務局)及び沖縄振興開発金融公庫)について衛藤内閣府特命担当大臣から説明を聴いた後、同大臣、尾身外務大臣政務官、藤木農林水産大臣政務官、岩田防衛大臣政務官、斎藤総務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

岩本剛人君(自民)、石橋通宏君(※)、徳永エリ君(※)、秋野公造君(公明)、鈴木宗男君(維新)、紙智子君(共産)、伊波洋一君(沖縄)

本委員会における委嘱審査は終了した。

○令和2年6月17日(水) (第5回)

- 沖縄及び北方問題に関する対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

○令和2年2月17日(月)、18日(火)

- 北方領土及び隣接地域の諸問題等に関する実

情調査

[派遣地]

北海道

[派遣委員]

小西洋之君(※)、猪口邦子君(自民)、山田宏君(自民)、石橋通宏君(※)、秋野公造君(公明)、鈴木宗男君(維新)、紙智子君(共産)、伊波洋一君(沖縄)